

WKFの組手競技新ルールについて

karate journal ホームページより抜粋

主な変更は「あとしばらくは残り15秒」と「先取」

試合終了時にスコアが同じ場合、最初のポイントを獲得した方が勝者となる。

- ・「先取」は、有効・技あり・一本のどれでもよい。
- ・「先取」は、試合時間の間ならいつでも適応される。
- ・「先取」は、個人組手、団体組手の両方に適応される。
- ・「先取」による勝利は、試合の点数が同じ時のみ適応される。(1-1、2-2、3-3)
- ・試合のスコアが0-0の場合、個人戦では判定による勝敗の決定、団体戦は引き分けとなる。
- ・主審は監査に「先取」と知らせなければいけない。
 - ＊ ＊ 先取ポイントコールの後に、監査に向かって先取ポイント側拳手のポーズで「赤(青)先取」と告げる。＊ ＊
 - ＊ ＊ 主審は時間で勝者コールする時、得点板等を確認して、ポイント先取者にすぐに勝者コールをすることができる。
 - ＊ ＊ コート記録係は、得点板(電子板も含む)に「先取の印」を付けて表示する要あり。＊ ＊
 - ＊ ＊ 記録票には、先取ポイント箇所に「✓」を付ける。＊ ＊
- ・もし主審が先取を知らせない場合、監査が笛を吹き主審に知らせるように指示する。
- ・団体組手の場合は、先取による勝ちも含めて勝利の多いチームの勝ちとする。

★最初の点数が入った時

- ・赤：一本 青：有効 ⇒ 先取なし
- ・両方がビデオ判定によるポイント ⇒ 先取なし
- ・赤：旗二本以上によるポイント 青：ビデオ判定によるポイント ⇒ 先取なし
- ・赤：旗二本以上またはビデオ判定によるポイント 青：ビデオ判定は無効の場合 ⇒ 先取！

★試合終了時

- ・個人戦：点数が同じ、先取なし ⇒ 判定
- ・団体戦：点数が同じ、先取なし ⇒ 引き分け
- ・個人戦：点数が同じ、先取あり ⇒ 先取した方が勝者
- ・団体戦：点数が同じ、先取あり ⇒ 先取した方が勝者
- ・団体戦の代表戦では、個人戦と同じルールが適応される。 ⇒ 先取した方が勝者

